

3 環境コミュニケーションの推進

環境保全に関するボランティア活動への参加や環境月間行事の実施などにより、地域の皆さまとの環境コミュニケーションに取り組んでいます。

■ 環境保全に関するボランティア活動への参加

大分支社では、坊ガツル湿原^{ぼく}における野焼き活動について、1999年に地元関係団体などととも「坊ガツル野焼き実行委員会」を発足させ、以降、毎年ボランティアとして委員会の運営や、野焼き活動への協力を続けています。

また、くじゅう連山では、地域の皆さまとともに2011年からミヤマキリシマの保護活動を実施しています。

野焼きによる湿原保全やミヤマキリシマの保護活動を通じて、「人が手を加えながら、自然を維持していく」ことに貢献していくために、今後とも、地域の皆さまと一体となって環境保全活動に取り組んでいきます。

なお、「くじゅう坊ガツル・タデ原湿原」(大分県竹田市、九重町)は、2005年に国際的に重要な湿地を保全するラムサール条約に登録されています。

用語集を
ご覧ください

- 環境
コミュニケーション
- ラムサール条約
- 生物多様性

環境保全ボランティア参加者の声

ミヤマキリシマの保護に取り組んでいます

九重の自然を守る会
副会長

ふな つけ し
船津 武士さん

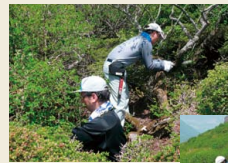


くじゅう連山の一つである平治岳^{ひいじだけ}(大分県)は、ミヤマキリシマの群生地として知られています。特に、5月下旬から6月中旬の満開時には、山がピンクに染まりとても感動します。しかし、近年はノリウツギなどの木に覆われ、ミヤマキリシマの開花量が減少していました。

かつての景観を取り戻そうと、2011年から九州電力さんと地元関係者の皆さまが協力し、ミヤマキリシマの日当たりを遮る木の伐採をするなど本格的な保護に取り組んでいただいています。おかげで開花量は年々

増えており、かつての景観を取り戻しつつあります。

今後も、生物多様性の保全のためにも、九州電力さんや地域の皆さまと協力してミヤマキリシマを守り続けていきたいです。



ミヤマキリシマの保護の様子



■ 地域における環境活動への取組み

地域の皆さまとの環境コミュニケーションを進めるため、自治体が主催する環境イベント等に参加・協力しています。

環境イベント参加者の声

環境フェスタで省エネ・節電PR

鹿児島お客さまセンター
鹿児島営業所 計画グループ

かわばた だいまけ
川畑 大輔



鹿児島営業所では、2008年から毎年鹿児島市の「環境フェスタ」に参加しています。

このイベントは、地域と行政が協働して環境への関心や意識向上を図ることを目的に毎年開催されています。

当営業所では、「考えてみよう わたしたちのくらしと電気」をテーマに、来場されたお客さまに実際に自転車を漕いでいただき、発電した電気で扇風機を回す体験等を通じて発電の仕組み等を理解してもら

うと同時に、省エネ・節電PRを行っています。特に、自転車発電機の体験は、子供から大人まで大好評で、「電気を作るのって大変だね」という感想もありました。

今後とも環境フェスタに参加し、省エネ・節電を積極的にPRしていきます。



環境フェスタ

～環境月間における取組み～

毎年6月の1か月間は、「環境月間」として全国各地で様々な行事が実施されています。当社においても、エネルギーと環境に関する意識高揚や、お客さまとの環境コミュニケーションの推進を図るための諸行事を展開しています。

2012年度は、「きゅうでん環境月間 エコチャレンジ2012～始めよう！私たちが今、できること。～」をテーマに清掃活動や次世代層向けイベントなどの環境活動を九州各地で実施しました。

WEB 詳細は九州電力ホームページ
関連・詳細情報 (P2参照) ▶環境月間

■ 清掃活動

事業所周辺の道路や公園、海岸など当社主催の清掃活動を76事業所で実施しました。

また、地元自治体等主催の清掃活動にも35事業所が参加しました。



清掃活動 (鹿児島支社)

■ 次世代層向けイベント

地域の子どもたちを対象にした親子向けの環境教室や発電所構内の農園開放など次世代層向けイベントを25事業所で実施しました。

日向電力所、日向土木保修所、耳川水力整備事務所は、合同で、宮崎県美郷町内の小学生と一緒に、耳川で稚魚放流を実施しました。



稚魚放流 (日向電力所・日向土木保修所・耳川水力整備事務所)

■ 省エネ・節電のお願い

お客さまへの節電のお願いとあわせ、緑のカーテンに活用できるアサガオやゴーヤの種を全事業所で街頭やイベント時に配布しました。

また、自治会などを対象とした省エネ・節電に関する講演会などを9つの事業所で実施しました。



省エネ・節電のお願い (新大分発電所)

用語集を
ご覧ください

- ステークホルダー
- 環境月間

環境月間ボランティア参加者の声

森鷗外旧居の清掃ボランティアに参加して

北九州支社
企画・総務部 総務グループ
しも さきのりかず
下崎 紀和



北九州支社では、環境月間行事として、北九州市小倉北区にある市の指定文化財「森鷗外旧居※」の清掃ボランティアを、2010年から毎年実施しています。

ボランティアには毎回約50名が参加し、主に敷地内に茂った雑草の刈り取りを実施しています。あふれる汗をぬぐいながらの大変な作業ですが、苦労した分、作業終了後のきれいな庭を眺めると、とてもすがすがしい気持ちになります。



作業風景

2012年6月に森鷗外の生誕150周年を記念して開催された式典において、北九州支社は、それまでの森鷗外旧居の環境美化への貢献に対する感謝状をいただきました。

これからも文化財の環境美化に貢献するため活動していきます。



感謝状



作業後の集合写真

※：森鷗外が旧陸軍第12師団軍医部長として小倉に赴任していた1899(明治32)年から1年半住んだ家。北九州市が1974年に市の文化財に指定し、1982年に森鷗外が居住した当時の状態に復元されました。